

リサーチグループ登録届出書

平成 24 年 1 月 27 日

1. グループの概要

グループの名称	空間情報科学リサーチグループ
分野名	空間情報科学
設置場所	総研棟A310
設置予定期間	2012年4月1日から2017年3月31日

2. 研究代表者

所属・職名	生命環境系・教授
(ふりがな)	むらやまゆうじ
氏名	村山祐司 (印)

3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・教授
氏名	村山祐司
電話	029-853-42111
FAX	029-853-4211
E-mail	mura@geoenv.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局(当該グループの運営等を管理する部局名)

生命環境科学研究科 地球環境科学専攻

グループ名	空間情報科学研究グループ				
グループ名(英語)	Spatial Information Science Research Group				
分野	参考: 1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系のうち、該当の番号を記載してください。				4
科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください		地理学	地球環境科学	
キーワード(5つまで)	空間情報科学	GIS	SIS	空間分析	地球環境
キーワード(英語)	Spatial Information Scien	GIS	SIS	Spatial I Analysis	Global Environment
グループのHP:URL	http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/sis/jp/index.html				
代表者名(英語)	村山祐司 (Murayama Yuji)				
研究組織					
氏名	所属機関	職名(任期)	専門分野	学位	役割分担
村山祐司	生命環境系	教授	空間情報科学・人文地理学	理学博士	グループ代表者
日下博幸	生命環境系	准教授	空間情報科学・大気科学	博士(理学)	
森本健弘	生命環境系	講師	空間情報科学・人文地理学	博士(理学)	
山下亜紀郎	生命環境系	助教	空間情報科学・地誌学	博士(理学)	
グループ概要(100字程度)					
<p>本研究グループは、空間情報科学の手法を援用して、地球環境の実態とその自然科学的プロセスやメカニズムを時間的・空間的に分析し、かつ人間環境を含めて総合的に解明することをめざす。さらに計量的方法や理論的モデルを用いて、地表面で生起する空間現象の構造やプロセスを解き明かす方法について探求する。</p>					
グループ概要(英語)					
<p>The main aim of our group is to develop geospatial science and technologies to address various issues of geoenvironmental science research. The objectives are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Integrate state-of-the-art geographical information systems (GIS), global navigational satellite system (GNSS), remote sensing (RS) technologies with field work based knowledge to address various issues such as environmental changes and human activities among others. 2. Transfer knowledge and skills to the University of Tsukuba community, local community, state and different agencies, and private or non-governmental organizations through education, outreach and training. 					
設置の目的及び必要性					
<p>本研究グループは、地理情報システム(GIS)、全地球衛星測位システム(GNSS)、リモートセンシング(RS)、数値シミュレーション・空間モデリングといった空間情報科学の手法を利用し、かつそれらを発展させながら、さらにフィールドワークによる直接的な知見も統合して、人間と地球環境のシステムの動態を研究する。この方面の研究はいま著しい発展のさなかにあり、将来的には諸学問を統合する可能性を秘めている。新領域の研究として推進する必要が高く、その核心を担うためこの研究グループを設置することが不可欠である。</p>					
研究計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報科学の理論的研究と応用研究 ・空間分析手法の開発 ・都市気候の実態調査・要因解明・将来予測、数値シミュレーション手法の開発 ・GISの農業・農村研究に対する応用のされ方 ・GISの水環境研究・地誌学に対する応用のされ方 					
研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ul style="list-style-type: none"> ・空間情報科学の体系化 ・地理情報科学教授法の確立 ・海外のGIS研究機関との交流促進 ・複数の国際プロジェクトをリードする共同研究の推進 ・体系化された共同教育体制に基づく優れた人材育成 ・空間情報科学の専門家として国際的に活躍できるグローバルな人材育成 					